

館報

庄内



庄内地区	
平成28年7月1日現在人口	
世帯数	6,784戸
男	7,476人
女	7,457人
合計	14,933人
庄内地区公民館	
発行 (ゆめひろば庄内)	
電話	24-1811
FAX	24-1812

庄内地区道路の現状は

庄内地区は他の地域に比べて歩道付の道路が多いと言われております。

やまびこ道路及び商業地域沿いに新しく道もでき、道幅及び歩道も広く人に優しい道だとは感じております。反面交通量及び通過車両が増加し、渋滞や住宅地及び農業道路への流入など問題も多いと思います。

次にゾーン30について考えてみたいと思います。

小学校付近の道路はゾーン30区域ですが栄橋からハローワーク間での事故が多発しております。東西で交差する道路はカーブミラーは有りますが非常に見にくく、何か改良する必要があります。

南北道路は道幅が狭く、交通量は多く30キロで走っている車は皆無ではないかと感じます。運転者は裏道を走る感覚ではないかと思えます。

一方通行の弊害だと私は考



(松本交通安全協会庄内地区支部)

えております。

次は通学路を考えます。車が一台やっと通れる様な道を小中学生が傘をさし、通学する所を見て、何とかならないかと常に思っております。

幹線道路を歩道付にし、学校の近くまで通し、通学路を変更すればスクランブル交差点も必要になると思いますし、子供達も安全に通学できるのではないのでしょうか。

子供を守る安心の家

「子供を守る安心の家」とは、子供が誘拐や暴力、痴漢などなんらかの被害に遭った、又は遭いそうになって助けを求めてきた時に、その子供を保護するとともに警察・学校・家庭などへ連絡するなどして、地域ぐるみで子供を守っていくボランティア活動です。

松本警察署管内の小学校31校で委嘱されている安心の家は1270軒。庄内地区では、並柳小23軒、筑摩小19軒、源池小5軒の47軒。通学路に沿った理美容院・コンビニ・一般の商店などをお願いしています。

今までの利用内容は

- ① 怪我をしたので手当する
 - ② トイレを貸してほしい
 - ③ 水を飲ませてほしい
 - ④ 電話を貸してほしい
- であり、事件性のある事案はないようです。

毎年3月に子供達が「お礼に来て、本当にうれしい」と、



言われることもあります。

最近では、まわりの環境通学路も変わりつつあり、お願いしてある場所の変更を、学校と保護者で見直してとの意見も出ております。大きく変化した庄内地区の子供達の生活を、安全に、しっかり、守っていけることができる地域で、「安心の家」が少しでも役に立てればと思っております。

(防災・防犯協会女性部)



竹炭の効用

長男家族がマンションに移ったとき、床下に竹炭を100キロ入れた。あれから3年になる。夫婦共働きで子供が6歳をかしらに3人いる。以前は子供のうち誰かが毎月病院通いをしていたが、昨年1年間は誰も病院には行かず元気そのものである。家を訪ねた友人は「この家は気持ちがいいね」と言ったそうだ。

信州大学の先生も住宅の床下に竹炭を入れた実験結果を発表している。湿度が梅雨時期になっても一定以上がらずカビも発生しなくなり快適な生活ができると報告している。月刊誌「サライ」には竹炭を水の中に一晩入れておくだけでおいしい水になると載っていた。

我が家では冷蔵庫のニオイ取り、お風呂には竹炭と竹酢液を入れてる。また、生花も花瓶の中に竹炭を入れると長持ちする等色々な効能があることが分かった。自然の物を利用して人間の身体に良い影響があることはとても良いことだと思います。(K)



地域の防犯灯について

日頃は、庄内地区防災・防犯活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、松本市では、平成24年度から町会管理の防犯灯の新設・更新に係わるLED照明器の補助制度の拡充を図っていました。

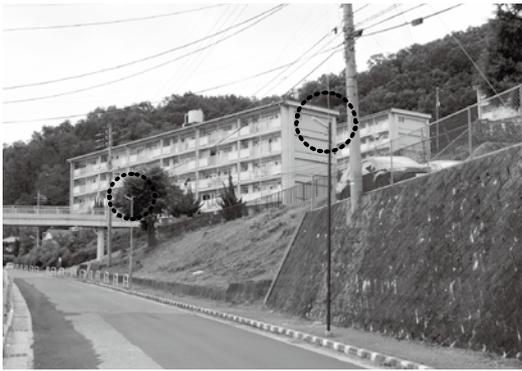
今年度がLED化5ヶ年計画の最終年度となりました。今年度が上乘せ補助の最終年度であり、来年度から減額になる見込みだそうです。

並柳団地町会でもLED化を進めており、まずは水銀灯をLEDに交換いたしました。多少の暗さは感じておりますが、防犯灯の役割は地域の安全には欠かせません。また、電気代は約3分の1程度に削減することができました。

電柱の腐食等により建て替えも行い予算も想定よりもかかりましたが、助成金と電気代の削減により2年程度で回収出来そうです。

蛍光灯からLEDに交換した所もかなりの削減効果が出ています。

また、長寿命との事で将来的な器具交換などの経費が節約出来そうです。



CO₂排出量を60パーセント削減し、エネルギー消費が少なく地球温暖化防止につながるそうです。

他の町会でも電気代削減により新規事業も立ち上げられる等の話もあり、さらなる庄内地区の発展に期待しております。

当、庄内地区の現状は、ほとんどの町会でLED化が完了しており残りの町会でも完了を目指して頑張っております。

防犯灯LED化率100パーセントを達成できるよう町会の皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

(防災・防犯協会)

着任のあいさつ

庄内交番番長 柳澤久



た柳澤久と申します。

前任は、大町警察署松川村駐在所です。

こちらに着任して感じたことは、庄内地区は店舗が多く、便利な地区だということですね。

その反面、交通事故が多発し、コモ庄内などの駐車場で

この度の異動で、庄内交番所長として着任いたしました。

は接触事故が多く、幹線道路では追突事故の発生が目立ちます。

犯罪の発生をみると、市内全域では、特殊詐欺の被害が多発しています。

手口は多岐にわたり、巧妙ですが、新聞やテレビなどで報道された記事について、関心を持って頂くことが被害にあわない近道かと思えます。

また、このゴールデンウィーク期間中には、松本市内でひつたくり事件が2件発生しており、そのうち1件は、庄内地区での発生となります。

庄内地区での事件は、午後

6時頃、町内の路地を高齢の女性が歩いていたところ、自転車に乗った男が背後から近づき、女性が所持していた手提げバッグを取ろうとしたが、女性が騒いだためバッグを盗まずに逃走し、未だ捕まっていないというものです。

みなさんの身近でも事件や事故は発生しています。

交番では、犯罪や事故について情報提供をして注意喚起をしたり、パトロールを実施して犯罪の検挙や未然防止に努め、地域の安全・安心を目指して頑張りますのでよろしくお願いたします。

災害に強い街づくり

丸の内防署 庄内出張所長 田中 康路



この4月に、丸の内消防署庄内出張所長に着任した

田中康路です。皆さんにご協力を頂きながら、地域の安心・安全のために、職員一同、全力で業務に取り組みますので、どうぞよろしくお願いたします。

平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実

強化に関する法律」が制定されました。この法律は、地震や頻発する様々な自然災害から1人1人の生命を守る方法を明確にし、どのように実行するかを示すものです。

大規模な災害が発生した場合、消防署や消防団が対応できることには限りがあり、皆さん自ら行動していただく必要があります。白馬村神城地震は地域住民の力を結集し、1人の死者も出さずに済み、奇跡とまで言われました。ま

ず、災害から自分を守り、家族や近所の要救助者の救出や被災者の救護を速やかに行

また、地域防災の要である消防団の団員確保も難しい状況にあり、地域にとつて重要な課題となっています。

災害を無くすことはできませんが、皆さんの心構えや備えで被害を最小限に止めることは可能です。

消防署、消防団もできる限りの協力で地域防災力の底上げを図っていきたいと思います。

